

accuraspray CS

クイックセットアップガイド
製造現場のコールド スプレー プロセスの
オンライン監視



tecnar

Innovate to differentiate.

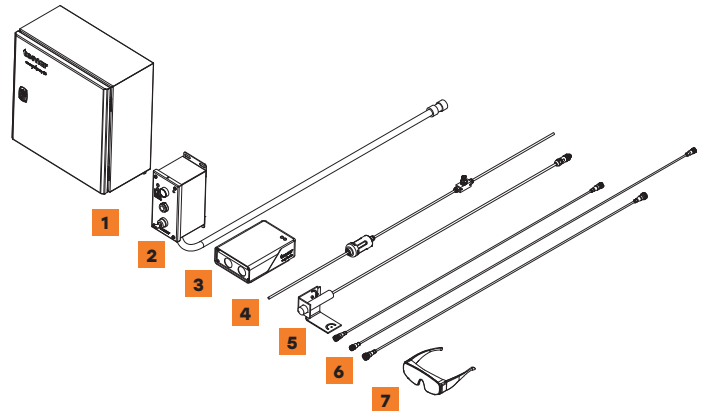
開始する前に

部品の開梱

箱のなかに含まれている部品:

1. コントローラー
2. HMIユニット
3. センサヘッド
4. エアフィルターとホース
5. 基板高温計とその支持ブラケット (オプション)
6. 通信ケーブル、レーザー電源ケーブル、安全スイッチケーブル
7. 安全メガネ

慎重に箱を開け、上の写真にある部品を取り出し、作業台の上に置く。



Register Now
Activate your warranty.
Get your free virtual training.



Registration
Using QR Code
or online:
spraysensors.tecnar.com/registration

保証を有効にすることで、様々な特典が受けられます。

簡単な登録手続きで、センサーを最大限に活用し、安心して保証を受けることができます。

- 無料バーチャルトレーニング
- ダウンロードマニュアルと手順書
- アップデート通知
- テクニカルチームとのチャット
- 保証の活用

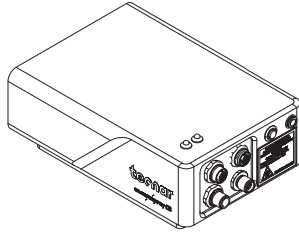


クラス 4 レーザー製品の警告:
危険: 目に見えないレーザー放射。
目や皮膚が直接または散乱放射線にさらされるのを避けてください。
(発光波長: 900~1000nm、
最大出力: 40W)
詳細については、ユーザーマニュアル 40101-00075 のレーザー安全セクションを参照してください。

1. センサーヘッドの取り付け

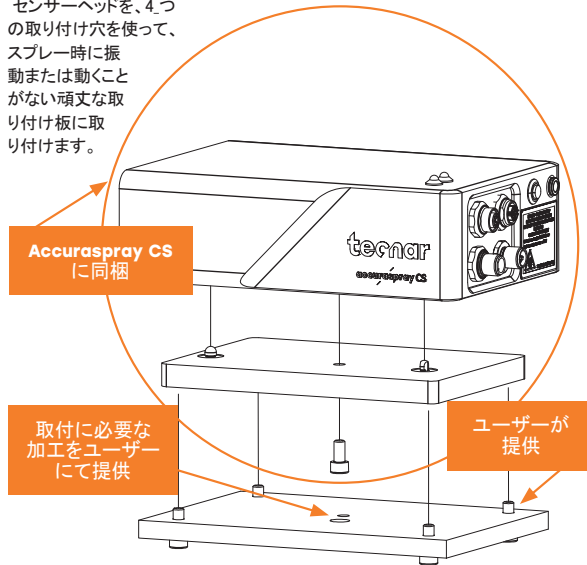
設置場所

センサーヘッドをスプレーブース内のロボット(スプレーガン)が容易に届く位置に設置します。ロボットが繰り返しセンサーヘッドに届く定位置になるようにしてください。通常の溶射作業に支障がないことを確認します。



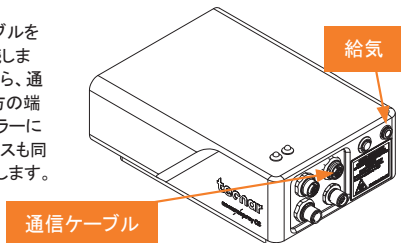
2. 取付方法

センサーヘッドを、4つの取り付け穴を使って、スプレー時に振動または動くことがない頑丈な取り付け板に取り付けます。



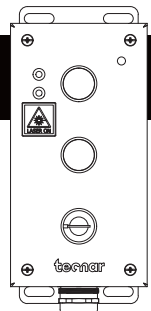
3. センサーヘッドの取り付け

工場エアと通信ケーブルをセンサーヘッドに接続します。スプレーブースから、通信ケーブルのもう一方の端を引出してコントローラーに接続します。エアホースも同様に工場エアに接続します。



4. HMIの取り付け

選択した場所に Accuraspray CS HMIを設置します。



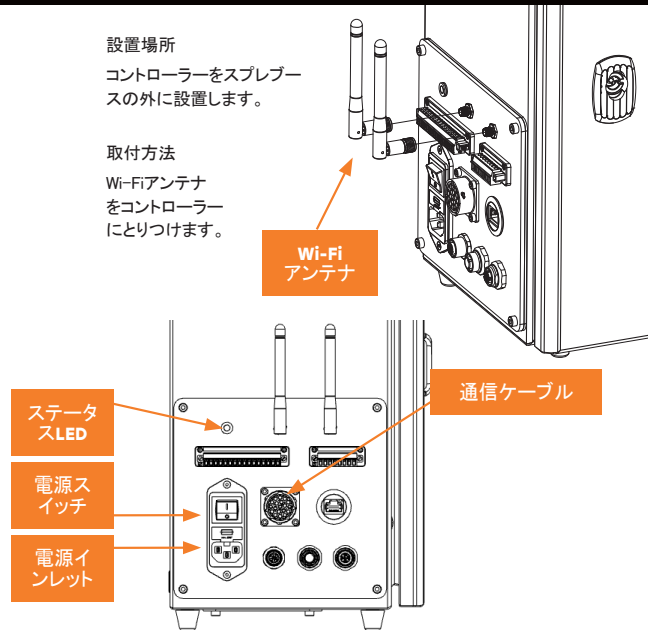
5. コントローラーの設置方法

設置場所

コントローラーをスプレーブースの外に設置します。

取付方法

Wi-Fiアンテナをコントローラーにとりつけます。



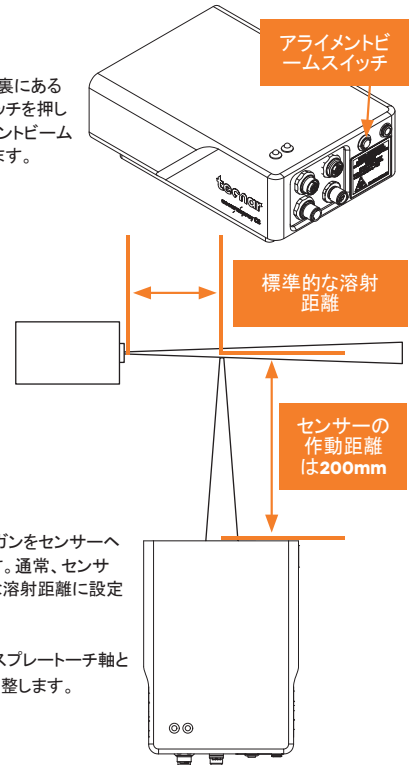
センサーヘッドに通信ケーブルをつなげます。

コントローラーに電源ケーブルをつけて、電源ソケットに差し込みます。Accurasprayコントローラーの電源スイッチをオンにします。

ステータスLEDが緑になるまで待ちます。

6. スプレーガンの位置調整

センサーの裏にあるビームスイッチを押して、アライメントビームをオンにします。



右図の通りに、スプレーガンをセンサーヘッドの近くに移動させます。通常、センサーの測定点は、標準的な溶射距離に設定されます。

センサーヘッドの前面とスプレータッチ軸との距離は、200mmに調整します。

7. ユーザーインターフェイスにアクセス

Accuraspray CS ユーザー インターフェイスには、コントローラ上でローカルにホストされている Web ブラウザを通じてアクセスできますが、インターネット上では利用できません。最適なパフォーマンスを得るには、Google Chrome または Microsoft Edge を使用することをお勧めします。コンピューターまたはタブレットにある一般的なWi-Fiメニューに移動し、「Accura CS - シリアル番号」を見つけます。Wi-Fiにアクセスするためのパスワードは、「accura.wifi」です。

ブラウザを開いてURLに「<http://accuraacs-00000000/>」と入力し、Accuraspray CSユーザーインターフェイスに接続します。数字の0は、接続しようとしている機器のシリアル番号に置き換えます。シリアル番号は、Wi-Fiネットワーク名またはコントローラー下に見つかる8桁の数字です。